

## Weinstein Cardiovascular Development and Regeneration Conference 2018

(2018.5.16-18, in Nara) 一般演題募集開始のご案内

Weinstein Conferenceは、心臓血管発生および再生領域における世界最高峰の国際学会です。基礎研究の成果を先天性心疾患の予防や治療に役立てることを目標として、毎年米国で開催されています。学会名「Weinstein」は、NIHの女性研究者、故Connie Weinstein博士に因んでいます。Weinstein博士は、心臓病のこども達のために長年にわたりアメリカ政府と交渉を続け、国から多くの資金を調達するとともに、様々な社会支援にも着手された偉大な研究者です。

学会の内容は、基礎研究と臨床医学のコラボレーションで、小児科循環器医を中心とする臨床医と、解剖学、病理学、発生生物学、分子生物学、再生医学などの研究者が数多く参加します。心臓血管の発生・発達、先天性心疾患の病因、および再生医学に関する最先端のプレゼンテーションと熱いディスカッション、そしてとてもフレンドリーな国際交流の場となります。一般演題はface-to-faceのポスターセッションが中心で、若手からシニアまで、ワイン・ビール・ジュースやお菓子を片手に、Tシャツ・ジーパンでもOKの気軽で楽しい雰囲気の中、発表と討論が繰り広げられます。さらに一般応募演題の中から、若手中心に30～40題の口演が選ばれ、国際会議でのエキサイティングな機会になります。

Weinstein Conferenceは、1994年に初めて開催され来年で25周年を迎えます。2004年以降、数回、欧州での開催がありましたが、この度、初めて日本への誘致に成功しました。特別講演として山中伸弥教授（京都大学iPS細胞研究所、2012年ノーベル医学生理学賞）、斎藤通紀教授（京都大学医学部機能微細形態学）をお招きしています。会場は、奈良公園の中央に位置する「奈良春日野国際フォーラム"菘"（いらか）」で、東大寺、興福寺、春日大社、奈良国立博物館も近い絶好のロケーションです。世界の第一線で活躍する心臓血管発生・再生の研究者が日本・奈良に集結する、この貴重な機会を是非お見逃しなく。

10月17日より参加登録と一般演題募集を開始いたしました。下記HPをご覧ください。皆様のご参加・ご応募を心よりお待ちしております。

公式ホームページ <http://convention.jtbcom.co.jp/weinstein2018/>

会期：2018年5月16日（水）～18日（金）

会場：奈良春日野国際フォーラム"菘"（いらか） <http://www.i-ra-ka.jp/welcome/>

Weinstein Cardiovascular Development and Regeneration Conference 2018

運営委員一同

代表 山岸敬幸（慶應義塾大学医学部小児科）

白石 公（国立循環器病研究センター）